

42758

教科書文庫

4
290
32-1913
2000030767

72  
1913

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

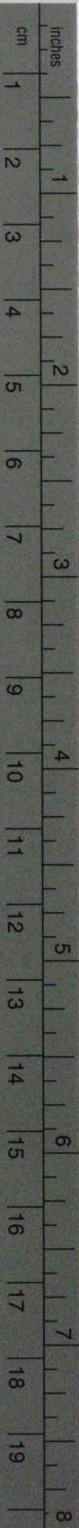


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫
4
290
32-1913
2000030767

高等小學地理  
 第三學年用  
 文部省

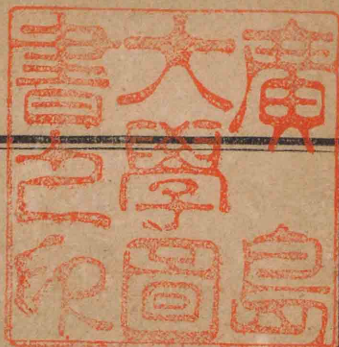


教科書文庫  
4  
290  
32-1913  
2000030767



# 高等小學地理

## 文部省



### 第三學年用

広島大学図書  
2000030767  


資料室

375.9  
Mo14

目 録

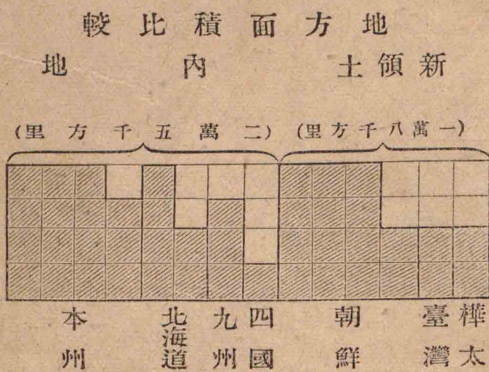
第一 總説	一	第七 水産業	三十四
第二 農業	三	内地の水産業	三十四
内地の農業	三	新領土の水産業	三十七
新領土の農業	十二	工業	三十九
第三 養蠶業	十四	内地の工業	三十九
第四 牧畜業附養禽業	十六	新領土の工業	五十三
第五 林業	二十	第九 商業	五十五
内地の林業	二十	内地の商業	五十五
新領土の林業	二十五	新領土の商業	六十
第六 鑛業	二十六	第十 關東州の産業	六十三
内地の鑛業	二十六	第十一 世界に於ける日本の地位	六十五
新領土の鑛業	三十二		

高等小學地理 第三學年用

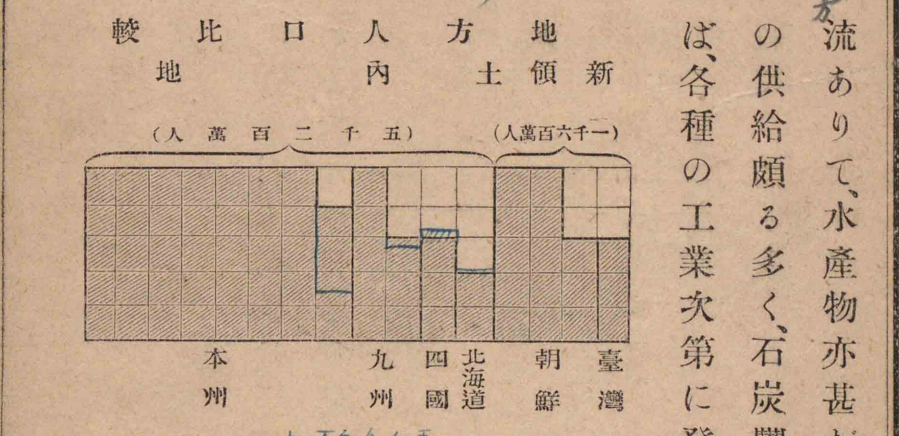
第一 總 說

我が大日本帝國は亞細亞洲の東部に在りて、太平洋の西北に連亘せる日本列島と大陸の東岸に突出せる朝鮮半島と

より成り、北緯約二十一度より殆ど五十一度に及び、總面積四萬三千餘方里あり。南部は熱帯に入れども、大部分は温帯に位し、氣候一般に温和にして雨量に富む。國內山岳多けれども、平野諸所に開けて農産物多く、山地は林産物、鑛産物に富む。近海には寒暖二種の海



日本 人口 六千八百萬に餘り、勞力  
 臺灣 人口 二百萬  
 朝鮮 人口 一千二百萬  
 滿洲 人口 三千萬  
 南洋 人口 五千萬  
 印度 人口 三億  
 支那 人口 四億  
 暹羅 人口 二千五百萬  
 爪哇 人口 一億  
 菲律賓 人口 一千二百萬  
 暹羅 人口 二千五百萬  
 爪哇 人口 一億  
 菲律賓 人口 一千二百萬



流ありて、水産物亦甚だ多し。人口は六千八百萬に餘り、勞力の供給頗る多く、石炭豊富にして、水力の利用亦漸く盛なれば、各種の工業次第に發達し、國內の天産物のみならず、外國より輸入したる原料品にも加工して、之を海外に輸出するもの多きを加ふるに至れり。我が國は近く支那、印度、南洋諸島等を控へ、太平洋を隔てて遙かに米國、加奈陀等に對し、又交通上ユーラシヤ大陸と太平洋との聯絡點に當り、世界交通の要路を占む。加ふるに沿岸良港に富み、貨物の出入に便なれ

概説

ば、國勢の伸張、産業の進歩等に伴ひて、外國貿易は大いに發達し、輸出入の年總額著しく増加するに至れり。若し資本を豊富ならしめ、商品の粗製濫造を避けて、良質廉價のものを増加し、以て販路の擴張を圖らば、我が産業の發達期して待つべきなり。

**第二 農業**

内地の農業

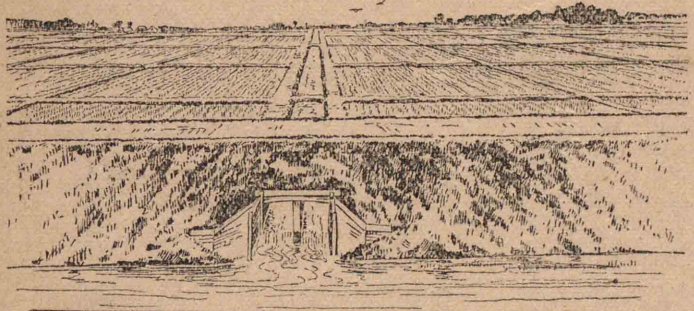
我が國は古來瑞穂國と稱し、農業夙に開けたり。殊に近年未墾地の開拓、耕地の整理及び利用盛に行はれて、耕地の面積次第に増加したるのみならず、灌漑及び耕作方法の改良、種子及び肥料の選擇、害虫の驅除等亦よく行はるるに至りし

日本國農業の概況  
 耕地の面積  
 農産物の生産額  
 農業人口  
 農業機械の保有数  
 農業生産額の推移  
 農業人口の推移  
 農業機械の保有数の推移

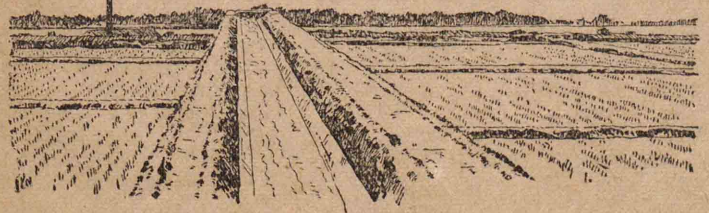
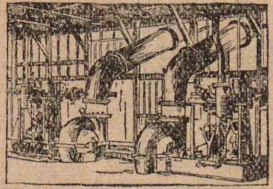
四百九十九町  
 四百九十九町  
 四百九十九町

を以て、此の業益盛なるに至れり。  
 内地の耕地は其の總面積の約一割五分を占め、田と畑と略

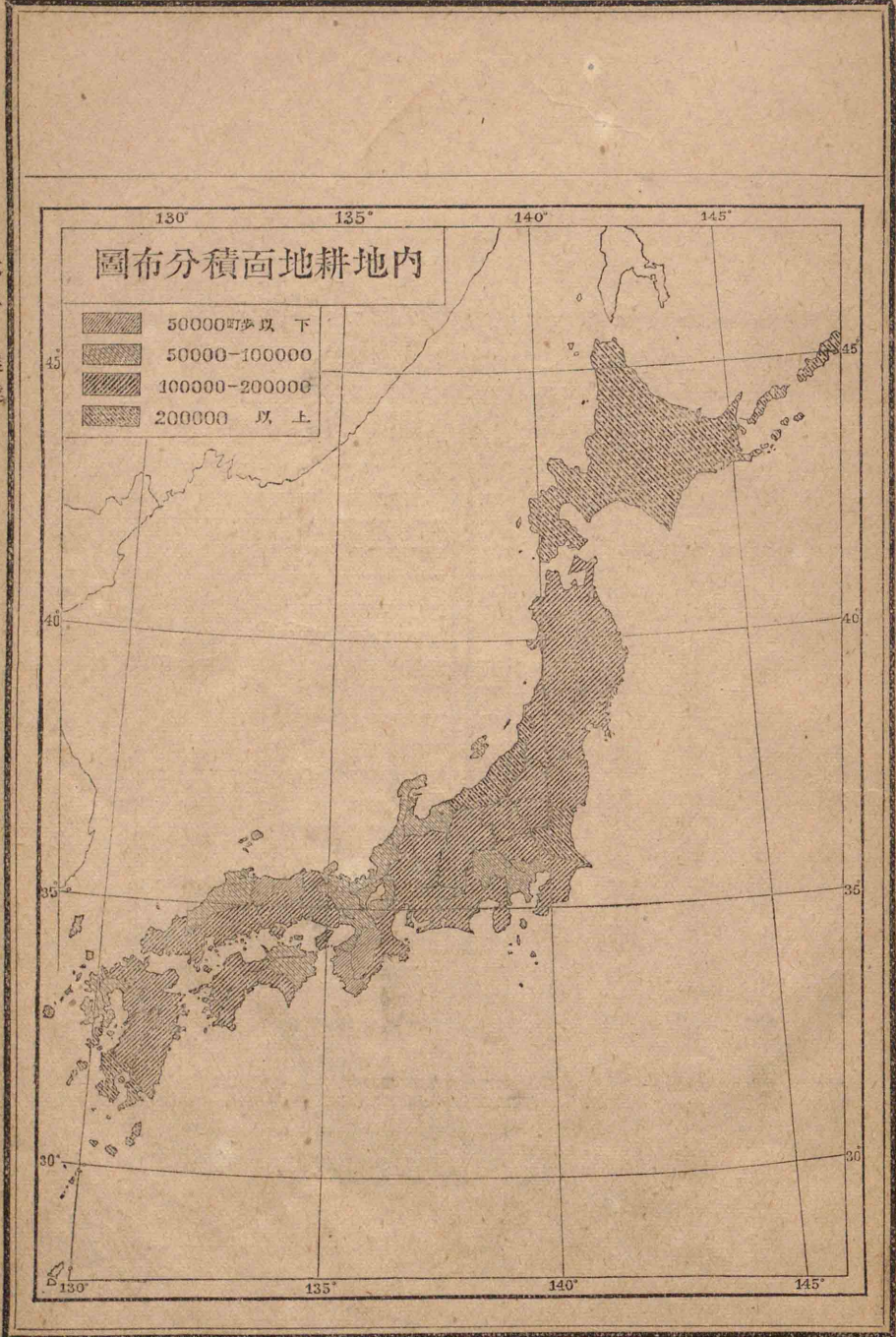
(一) 理整地耕



相半す。各地  
 方中、耕地の  
 面積殊に廣  
 きは北海道  
 にして、新潟・鹿兒島  
 茨城・千葉・福島・熊本  
 長野・埼玉の諸縣之  
 に次ぐ。毛作は近  
 畿地方以西によく  
 行はれ、これより東

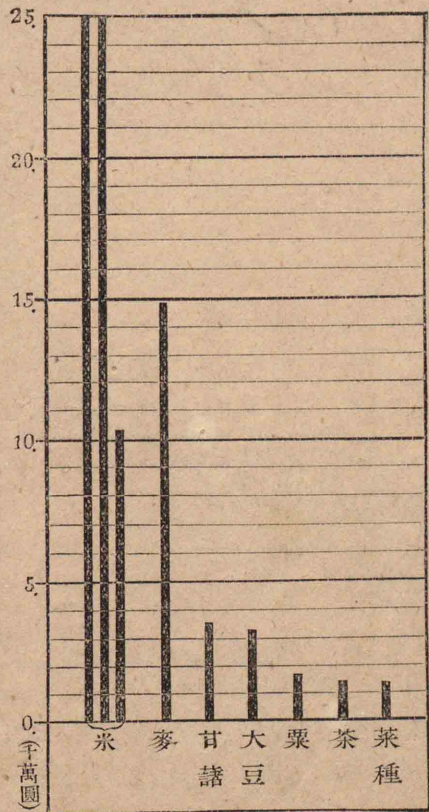


(二) 理整地耕



農産物

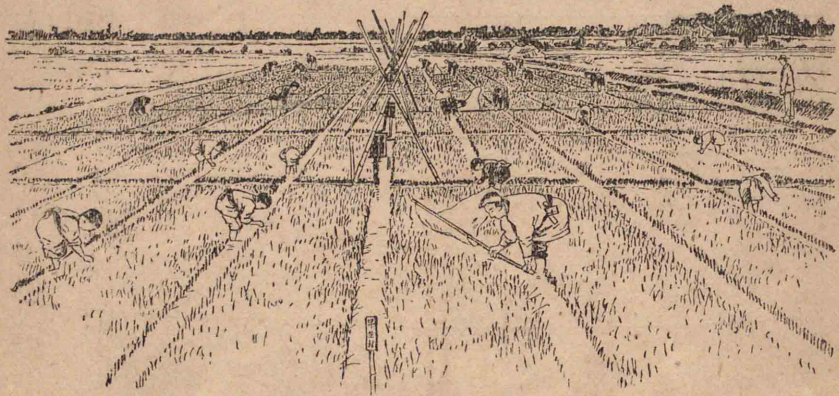
北に進むに随ひて次第に減少す。農民は國民の凡そ六割を占め、農家一戸に對する耕地は平均凡そ一町歩に當る。農産物は近時次第に増加して年額十數億圓に達し、穀類及び豆菽類を主とす。就中米と麥とは重要にして、其の豊凶は直ちに國家經濟に至大の影響を與ふ。是等に次ぎて産額の多きは甘藷、大豆、粟、茶、菜種等なり。農産物の中には綿、藍等の如く輸入品に壓倒せら



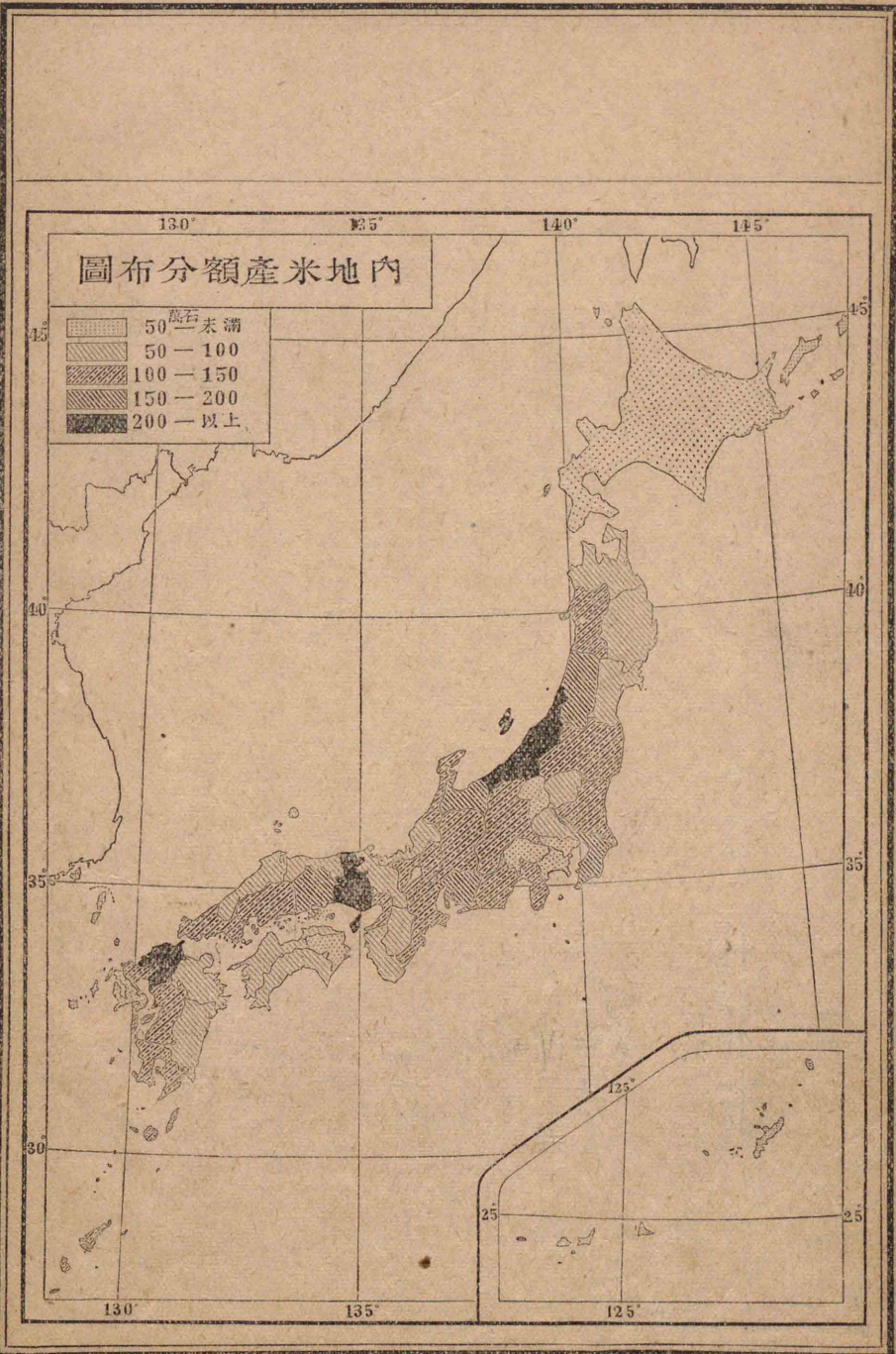
主 要 農 産 物 年 産 額

米

害 蟲 驅 除



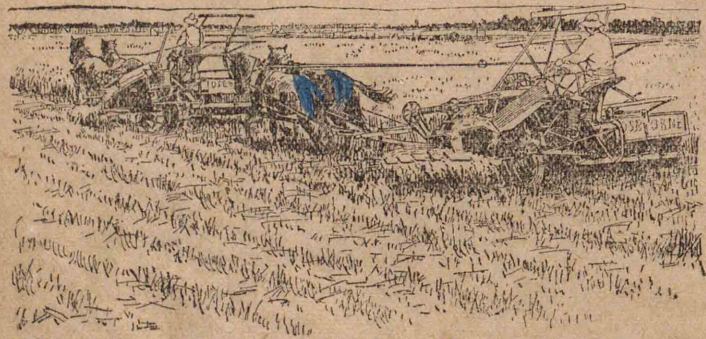
れて、産額漸く減少せしものあれども、蔬菜果實等の中には新に栽培せられて、其の種類増加したるもの少からず。我が國は印度支那及び印度支那半島等と共に世界の主要なる米産地たり。内地の米は其の産額<sup>五</sup>平年凡そ<sup>三</sup>四千萬石に<sup>五</sup>達し、新潟、福岡、兵庫の三縣に多<sup>五</sup>く、何れも二百餘萬石に及び、愛<sup>五</sup>知、千葉、山形、岡山、富山等の諸縣<sup>五</sup>之に次ぐ。一反歩の收穫高凡そ



麥

一石七斗にして、濃尾平野、筑紫平野及び近畿地方に於ける諸平野は其の割合頗る大なり。米の取引は東京、大阪、神戸、名古屋、下關等に頗る盛なり。米は我が國の移住民多き布哇米國等に輸出せらるるもの少からず。されど人口次第に増加するが爲に、内地に於ける米の需要益多大なれば、年年臺灣、朝鮮より移入し、又亞細亞大陸の南部より其の供給を受くること頗る多し。

麥には大麥、稞麥及び小麥等あり。平年の産額合せて二千萬石を超え、關



刈麥械機

甘藷

東地方を主産地とし、其の埼玉茨城栃木の三縣に殊に多く、  
兵庫愛知の三縣之に次ぐ。大麥は中部地方以北に、稗麥は近  
畿地方以西に、小麥は關東地方に其の産額多し。小麥は内地  
の需要を充すに足らざるを以て、其の輸入尙多けれども、麥  
粉の輸入は近年著しく減少せり。  
甘藷は年産額八億貫を超え、沖繩鹿兒島の二縣に多く、北部  
に進むに隨ひて漸次減少し、奥羽地方の北部に至りて其の  
跡を絶つ。是より北海道地方に亙りては馬鈴薯の栽培頗る  
盛なり。

大豆

大豆は年産額凡そ三百四十萬石に及び、北海道を初め茨城  
新潟岩手等の諸縣に多く産出す。されど其の産額未だ需要  
を充す能はざれば、朝鮮滿洲等より供給を受くること頗る

粟

多し。

粟は年産額二百萬石以上に達し、熊本鹿兒島大分等九州地  
方の諸縣に多く産し、又本州の岩手神奈川二縣にも其の産  
額少からず。

茶

茶は年産額凡そ一千四百萬圓に及び、大部分綠茶に屬す。本  
州にては關東地方以西に於ける太平洋斜面の丘陵地に多  
く栽培せられ、静岡縣は産額最も多くして、總産額の約四割  
を出す。又三重京都奈良鹿兒島熊本茨城滋賀等の諸地方に  
も産額頗る多し。京都府の宇治茶は古來風味の佳良を以て  
名あり。茶は輸出農産物の第一位を占む。

菜種

菜種は年産額百萬石以上に達し、北海道福岡縣、近畿地方の  
諸平野等に多く産す。



## 臺灣の農業

## 新領土の農業

臺灣は氣温高く、雨量潤澤にして、よく農業に適す。其の耕地は全面積の約二割に及び、住民の凡そ六割は農業に従事す。近年灌漑の施設、耕作の方法等進歩せるを以て、農産物の收穫著しく増加せり。農産物は米・甘藷・甘蔗・茶を主とし、落花生・胡麻等之に次ぎ、又龍眼・バナナ・パイナップル・柑橘等熱帯性の果實多し。

米は最も主要なる農産物にして、西部の平野に多く産す。其の收穫は年二回に及び、年産額四百萬石を超え、其中、内地に移入せらるるもの少からず。甘藷は到る所に栽培せられ、米に次ぎて重要なる食料品たり。甘蔗の栽培は愈盛にして、主に南部に行はる。茶は北部の丘陵地に多く栽培し、臺北に

## 朝鮮の農業

て精製せられ、烏龍茶ウロン其の大部を占む。茶は本島第一の輸出品たり。

朝鮮は風土概ね農業に適するを以て、古來此の業廣く行はれ、住民の凡そ八割は之に従事す。されど耕地は面積の凡そ一割に止り、且排水の設備未だ整はず、耕作の方法も亦概ね宜しきを得ざるを以て、收穫の割合頗る少きを免れず。近年勸業模範場を設け、又は東洋拓殖會社を起して、大いに此の業の改善に力を用ふ。農産物は米・麥・粟・大豆を主要なるものとし、其の他、綿・人參等あり。

米は最も主なる農産物にして、移出品及び輸出品の第一位を占め、年産額八百萬石以上に及ぶ。中部以南に多く、北部に至るに隨ひ漸く減少す。麥は大麥・小麥を主とし、亦中部以南

樺太の農業

に多く、粟は中部以北に多し。大豆は到る所に産し、米に次ぎて主要なる移出品たり。綿は南部に多く栽培せらる。又人參は開城附近に多く、主として支那に輸出す。樺太は氣温低く、住民少く、開拓未だ進まずして、僅かに麥、豆類、蔬菜類等を栽培す。

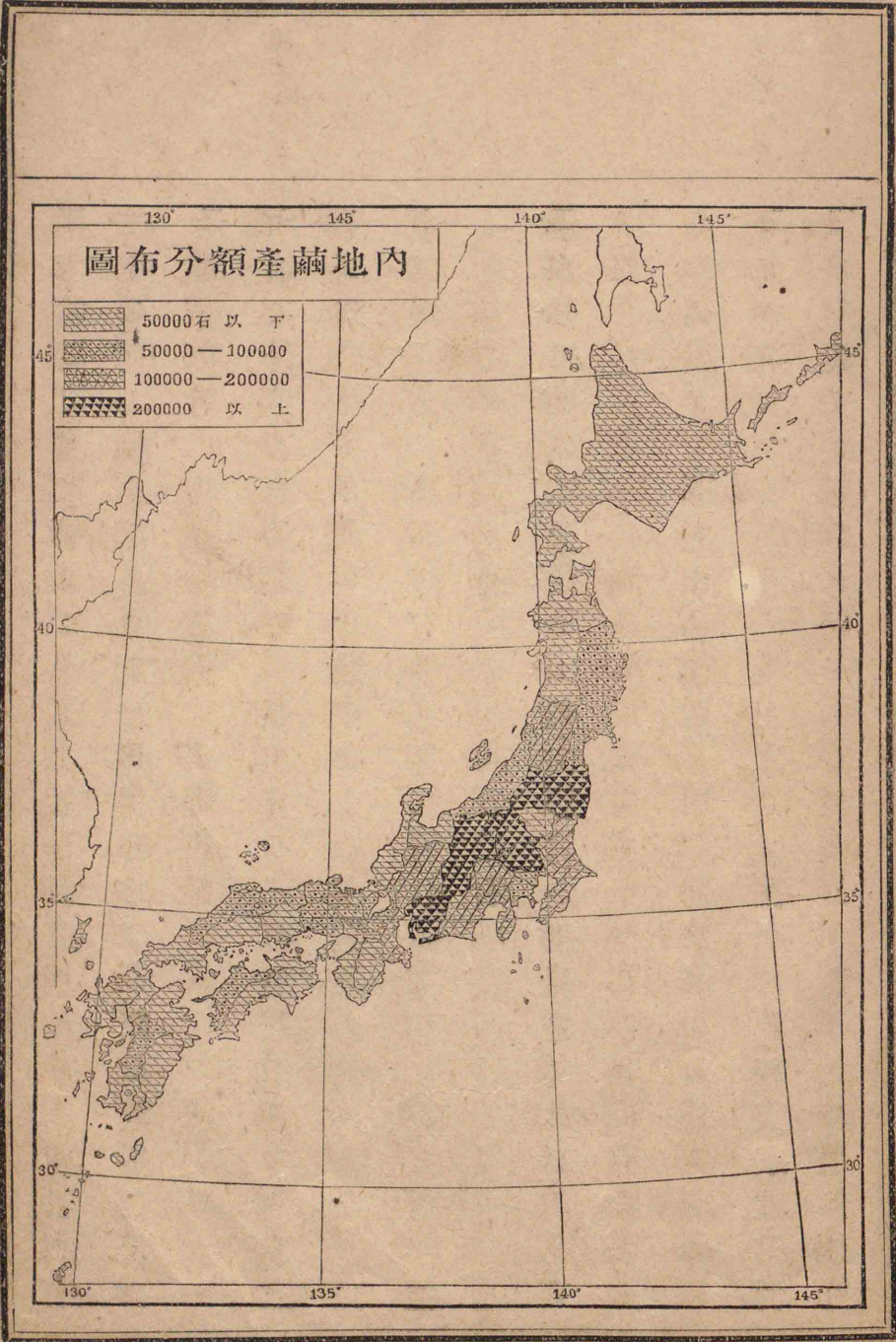
### 第三 養蠶業

概説

養蠶業は太古以來内地に行はれ、殊に明治以後生絲の需要増加したるが爲に、此の業益發達し、今や其の名世界に著る。朝鮮の風土も亦之に適するを以て、將來其の發達を見るに至るべし。

桑

桑は養蠶業の發達に隨ひて益栽培せられ、桑畑は其の面積



繭

四十餘萬町歩に達して、中部地方及び其の附近の諸縣に殊に多く、中にも長野・福島の二縣に於ては各、四萬町歩以上に及ぶ。

内地に於ける繭は其の年産額凡そ四百萬石、價凡そ一億三千萬圓に及び、春繭其の過半を占む。養蠶業の殊に盛なるは中部地方より奥羽地方の南部に互れる方面にして、近年他の地方にも著しく發達せり。繭の産額は、長野縣を第一とし、愛知・群馬・福島・埼玉・岐阜・山梨・山形等の諸縣之に次ぐ。

第四 牧畜業附養禽業

内地の牧畜業

内地は廣大なる平野に乏しく、氣候濕潤に過ぎ、又宗教慣習等の關係によりて、古來衣食の資料と力役の供給とを畜類

牛

に求むること少かりき。されば牧畜業は常に振はずして、今尙外國に及ばざること甚だ遠し。近年畜類の用途次第に増すに及び、所所に種牛所・種馬所・種畜牧場等を設けて、銳意家畜の改良を圖れり。家畜の主要なるものは牛・馬・豚にして、是等は概ね内國種に屬し、雜種及び外國種は漸次増加せしも、其の數尙多からず。羊は其の飼養未だ盛ならざるを以て、羊毛は概ね輸入品たり。牛は其の總數凡そ百四十萬頭にして、人口百人につき僅かに三頭に及ばず。近畿地方以西に多く飼養せられ、岡山・廣島・兵庫・島根の四縣に頭數及び取引多く、鹿兒島・長崎二縣にも其の數少からず。有名なる神戸牛は主として中國産のものたり。

馬

馬は其の總數約百六十萬頭に及び、北海道は頭數最も多く、總數の略一割を有し、鹿兒島縣之に次ぐ。又奥羽地方の諸縣にも其の數頗る多し。馬の取引は福島・岩手の二縣に甚だ盛にして、南部馬・三春馬の名古來著る。

豚

豚は繁殖力盛に、且其の飼養牛馬に比して容易なれども、總數は未だ三十萬頭に達せず。沖繩・鹿兒島の二縣に多く、合せて總數の半以上を占め、千葉・茨城・神奈川等の諸縣にも其の數少からず。豚肉は其の需要近年頗る増加せり。

臺灣の牧畜業

臺灣にては豚・水牛・黄牛を主要なる家畜とす。豚は内地より遙かに多くして、凡そ百三十萬頭に達し、到る所に飼養せらる。是等の家畜は何れも中部以南に多く、水牛は主として水田多き地方に飼養せらる。

朝鮮の牧畜業

朝鮮の家畜は牛・豚を主なるものとす。殊に牛は其の頭數頗る多くして、凡そ七十萬頭に達す。牛皮は牛と共に内地に移出せらるるもの多し。

樺太の牧畜業

樺太には牧場に適する所甚だ多けれども、牛馬の數未だ多からず。土人の間には馴鹿の飼養行はる。

養禽業

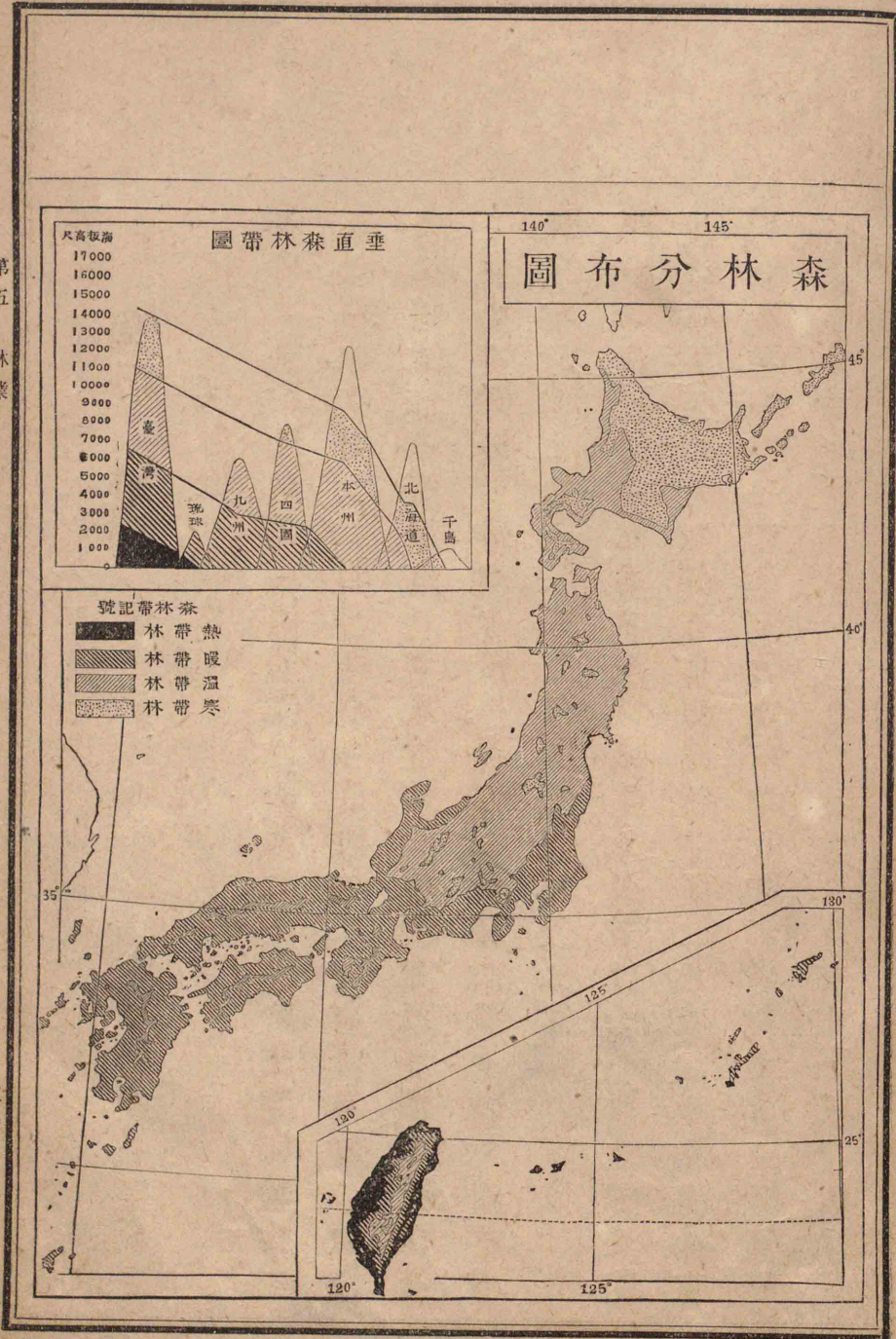
養禽業は牧畜業と共に主に農家の副業として行はれ、内地にては雞・鶩等を主なる家禽とす。就中雞は到る所に養はれ、成禽は凡そ一千三百萬羽に達し、鹿兒島・茨城・千葉・愛知の四縣に多し。雞卵は年産額一千五百萬圓を超え、千葉縣は其の凡そ一割を出す。されど産額は未だ内地の需要を充すに足らざれば、年年支那より輸入せらるるもの少からず。雞は臺灣及び朝鮮に於ても亦重要なる家禽なり。

### 第五 林業

#### 内地の林業

概説

内地は氣候概ね溫和濕潤なれば、森林よく繁茂し林産物に富む。森林は南より北に進み、又低所より高所に昇るに随ひ、各、熱・暖・温・寒の四帯に分る。熱帯林は榕樹等、暖帯林は檜・椎等、温帯林は榲・檜・杉・檜等、寒帯林は蝦夷松・榎松等を以て固有の樹木とす。此の中、温帯林は有用の樹種に富み、其の區域は九州の高地に起り、北進するに随ひて次第に低下し、中部及び奥羽地方の大部を占め、北海道の中部に至りて寒帯林に接す。又暖帯林は主として温帯林の南に分布し、沖繩島の略中部に於て熱帯林と界す。以上の天然林の中には或は伐採開



墾によりて其の跡を絶ちたるもの、又は新に松杉・檜・竹類等の栽培せられたるが爲に、其の自然的分布の状態を變化したるもの少からず。

國有林八〇万町歩  
御料林一八〇万町歩  
其他

森林の面積は凡そ一千九百萬町歩にして、内地總面積の二分の一に近く、之に原野を加ふれば三千二百餘萬町歩に上る。森林には供用林・保安林の二種あり、供用林面積の大部分を占む。是等を所有別にすれば、御料林・國有林・公有林・社寺有林・私有林等に分たれ、國有林半以上に及ぶ。

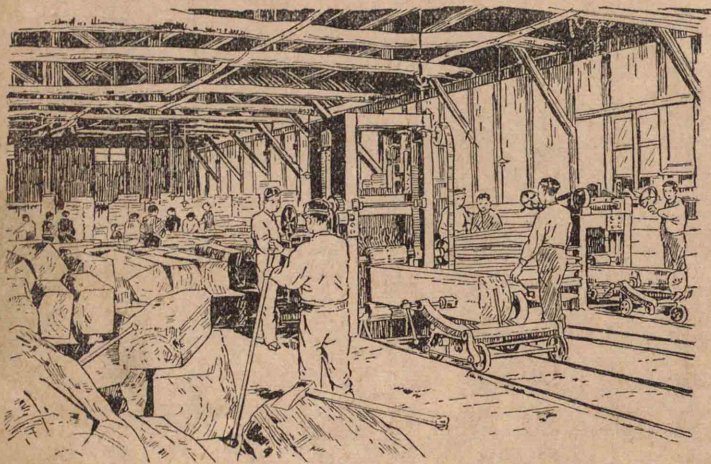
森林の著しきものは高野山・吉野・木曾・天城山の諸地方、天龍川の流域及び秋田縣・青森縣・北海道等に在り。就中木曾の森林は檜・花柏・鼠子・明檜及び高野槇の五種を以て聞え、秋田縣と吉野地方との森林は杉を以て著れ、青森縣の明檜も亦頗

る名高し。

林産物

林産物中には木材・薪炭等あり。木材は年産額凡そ四千萬圓

製材所



に上り、秋田・山口・大分・奈良・和歌山・三重等の諸縣に多く産す。主要なる木材は杉及び松にして、總産額の凡そ四分の三を占め、檜・樅・栗・梅・檜・樺等之に次ぐ。製材は北海道の丸材及び角材を主とし、秋田縣の挽材之に次ぎ、其の他、下駄材・鐵道枕木等あり。小樽・能代・青森等は製材供給の主要なる市場たり。林産物中に

は海外に輸出せらるるもの頗る多く、木材及び板類は主として支那に、鐵道枕木等は主として支那及び米國に送らる。されど製紙用パルプ、亞米利加松、チーク材、コルク、栓等は外國の輸入に待つ。

薪材は松、櫟、樫を主とし、年産額凡そ三千萬圓に及び、大分、茨城、鹿兒島、廣島、兵庫等の諸縣に多く産す。木炭は年産額二千萬圓に近く、櫟、檜、樫、松等より製し、多く福島、北海道、栃木、高知、島根等の諸地方に出づ。

竹は南部の各地に産し、北進するに隨ひて漸く減少し、奥羽地方の北部には殆ど竹林を見ず。京都、山口、大分、茨城、鹿兒島、宮崎等の諸地方は其の主産地たり。竹材及び其の製品の海外に輸出せらるるもの少からず。

臺灣の林業

臺灣期

新領土の林業

179.16

又森林よりは木蠟、下草、葦、筍、樹皮、樟腦、製紙用パルプ、漆液等の副産物を出す。

臺灣には縦貫山脈に鬱蒼たる天然林ありて、樟、檜、杉等の樹木に富むも、其の利用未だ盛ならず。されど阿里山森林の經營進むに隨ひ、良材の供給次第に増加すべし。又樟より製する樟腦は其の量甚だ多く、年産額五百萬斤を超え、其中、西洋諸國に輸出せらるるもの亦甚だ多し。

朝鮮の林業

朝鮮の森林中、著しきものは北部の鴨綠、豆滿兩江の流域に在り。兩江流域の森林は總督府の經營に屬し、落葉松、五葉松等に富む。木材集散の最も盛なるは新義州たり。積年濫伐行はれ、森林の荒廢甚だしかりしも、近年殖林の獎勵行はれ、且

樺太の森林

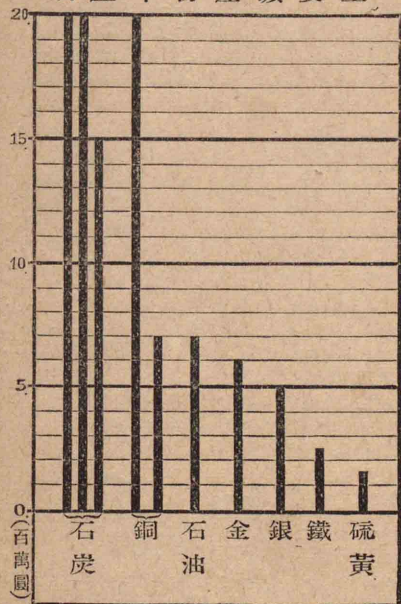
其の風土樹木の生育に適するを以て、林業の前途頗る有望なるものあり。

樺太の森林は頗る大にして總面積の約八割を占め、蝦夷松、榎、松、樺、太、落葉松等多し。されど林業未だ盛ならず。

### 第六 鑛業

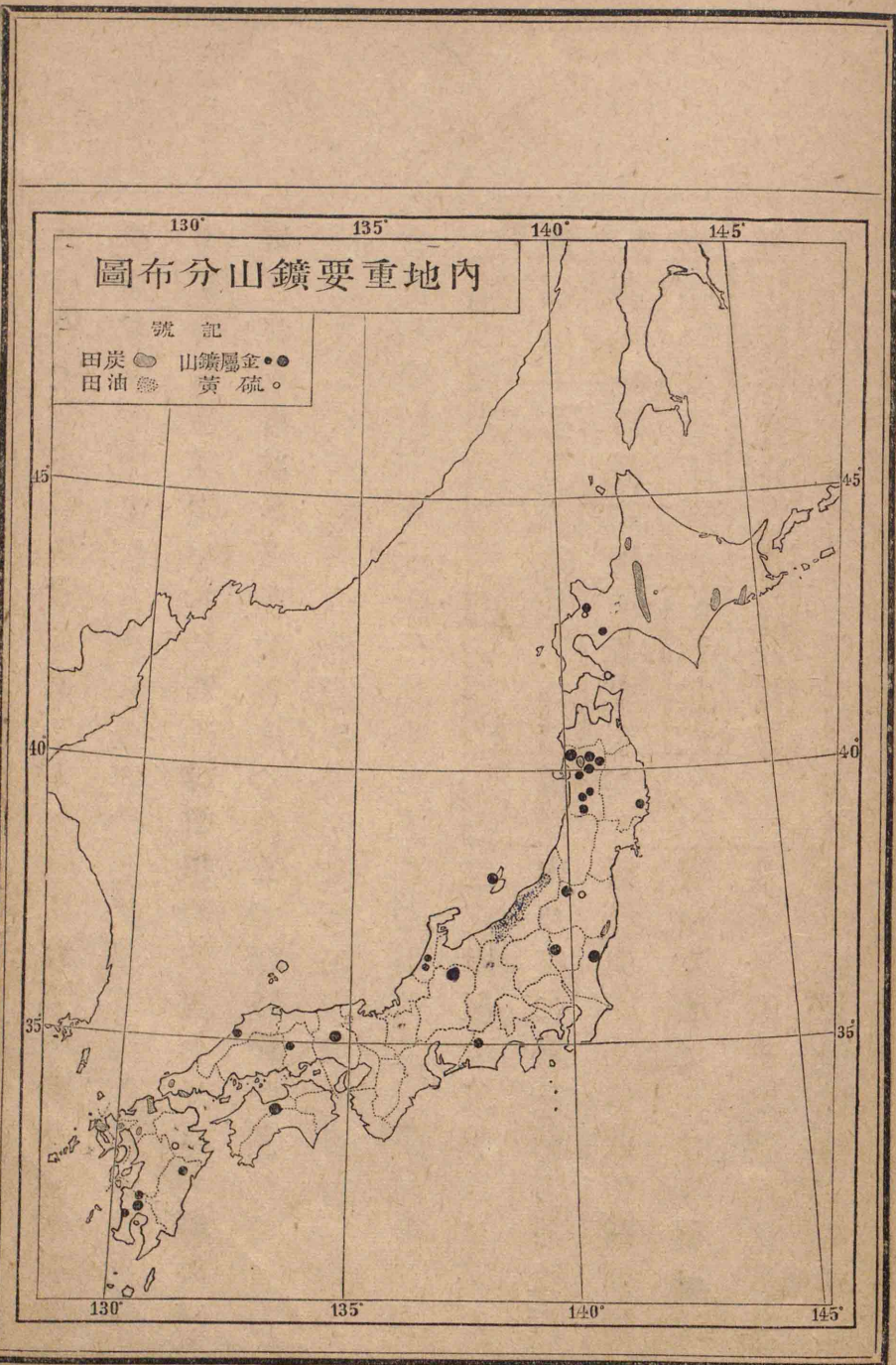
概説

重 要 鑛 産 物 年 産 額



#### 内地の鑛業

内地は種種の有用鑛物に富み、加ふるに近年採掘精製の業進歩したるを以て、著しき鑛物のみにて其の年産額一億圓を超ゆる





鑛産物

に至れり。

金屬鑛物には銅鑛を初め、金、銀、鐵、亞鉛、鉛等の鑛石あり。非金屬鑛物には石炭を初め、石油、硫黃等の産出少からず。就中石炭と銅とは其の産額頗る多く、合せて鑛産物總價額の八割餘に及ぶ。又近時有用岩石の利用次第に増加せり。

金は年産額凡そ一千二百貫に上る。金鑛は鹿兒島縣の山野鑛山に最も多く産し、本州にては佐渡・小坂の二鑛山に其の産出頗る多し。金は是等の諸鑛山にて盛に製鍊せらる。又近時茨城縣の日立鑛山にても其の製鍊大に行はる。

銀は年産額約三萬九千貫五十六の千に及び、概ね本州に産す。秋田縣は總産額の過半を出し、小坂五十六の千・小坂五十六の千・小坂五十六の千の二鑛山最も著る。其の他、兵庫縣の生野イカノ、岐阜縣の神岡等の諸鑛山よりも産出少からず。近

金二四萬貫  
銀七萬貫  
世界七位と云

銀

銅

時日立・足尾等にても銀の製鍊行はる。

我が國は主要なる産銅國の一にして、銅は其の年産額約九一千萬斤に及び、本州・四國・九州の各地に産す。秋田縣は總産額の凡そ三割を出す。産銅鑛山は足尾・別子・小坂・日立を初め、其の數頗る多し。銅は多く海外に輸出せられ、輸出鑛産物の第一位を占む。

内地の鐵鑛は釜石鑛山を初め諸所に産出し、是より製する鐵の量年約六萬噸に及ぶ。尙朝鮮及び支那に多量の鐵鑛を求め、八幡製鐵所にて年約十八萬噸の鐵を製鍊す。是等を合すれば其の年價額一千万圓以上に及べども、未だ需要の略三割を充すに過ぎざれば、年年西洋諸國に輸入を求むること甚だ多し。

鐵  
一億二千萬七千貫

石炭

石炭は内地鑛産物中、最も主要なるものにして、年産額約二千萬噸に及び、九州・北海道に多く産し、九州にては福岡・佐賀・長崎の三縣殊に多し。就中福岡縣は總産額の凡そ七割を出す。其の三池炭坑は坑區の廣大なること本邦第一に位し、産額は總産額の一割餘に及ぶ。又本縣の遠賀川流域なる筑豊炭田に大浦・三井田川・明治等の諸炭坑を初め、坑區甚だ多し。是等の諸炭坑より産する九州炭は三池・門司・若松等の諸港より盛に内外の各地に送らる。北海道の石狩炭田は總産額の約一割を産し、夕張・幌内・空知等の炭坑亦著る。又本州にては福島縣より茨城縣に亙れる海岸地方に常磐炭田あり、炭量多からず炭質良好ならざれども、亦稍盛況を呈す。石炭は我が國輸出鑛産物の第二位を占む。

石油

石油の原油は年産額百五十餘萬石に及び、殆ど全部新潟縣に出で、新津・西山・東山等の油田著る。原油の精製は新潟縣の柏崎・直江津・長岡・新津等に盛にして、神奈川縣・東京府にても亦行はる。されど其の量未だ内地需要の凡そ三分の一を充すに過ぎざれば、年年輸入額頗る多し。

硫黃

内地は火山多くして、硫黃は其の年産額約八千四百萬斤に及び、北海道の古武井・岩雄登・福島縣の沼尻山等に多し。我が國は世界第三の硫黃産地たり。

石材

石材の中にて良質なるは花崗岩を最とし、安山岩・砂岩等之に次ぐ。花崗岩の石材は中國・近畿・關東の諸地方より多く産し、御影石の名古來著る。安山岩は廣く火山地方に出で、神奈川縣の小松石よく知らる。砂岩には大阪府の和泉石、凝灰岩

には千葉縣の房州石、栃木縣の大谷石等、粘板岩には宮城縣の雄勝石著る。又茨城、岐阜、山口等の諸縣に大理石を産すること少からず。

工業用岩石類

工業用岩石の中にて陶土に富むものは、瀬戸、有田、天草を初め、其の他諸所に産し、陶磁器の原料となる。蠟石は岡山縣の三石に出で、耐火粘土は瀬戸、常磐炭田等に産し、何れも耐火煉瓦及び陶磁器の原料となる。硝子の原料には紀州砂、淡路砂等あり。

新領土の鑛業

臺灣の鑛業

臺灣の主要鑛産物は金と石炭となり。金鑛の中、山金は北部の金瓜石、瑞芳、牡丹坑の三鑛山に多く産し、砂金は臺北附近に出で、合せて年産額二百萬圓を超ゆ。石炭は亦北部に出で、

其の量少からず。

朝鮮の鑛業

朝鮮は鑛物に富むを以て、鑛業は將來有望なり。鑛産物の首位を占むるものは金にして、鐵、石炭、黒鉛等之に次ぎ、金の年産額は五百萬圓以上に及ぶ。金山の最大なるものは北部の雲山にして、中部の遂安之に次ぎ、是等二金山の鑛業は外國人の經營に係れり。中部の稷山亦名あり。砂金の産は順安を初め、北部諸川の流域に多し。鐵鑛は主として中部の安岳、載寧、殷栗の三地方に産し、八幡製鐵所に送らる。無焰炭は平壤附近に多く産し、大部分は山口縣の徳山に在る煉炭製造所に送らる。

樺太の鑛業

樺太の鑛業は未だ振はざれども、豊富なる炭田の既に發見せられたるものあり。

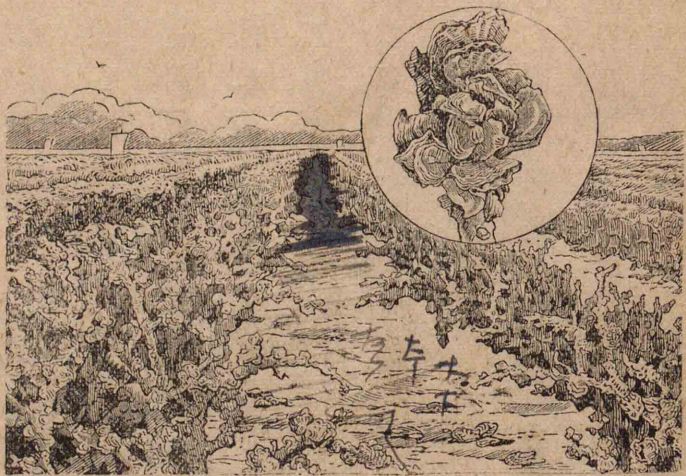
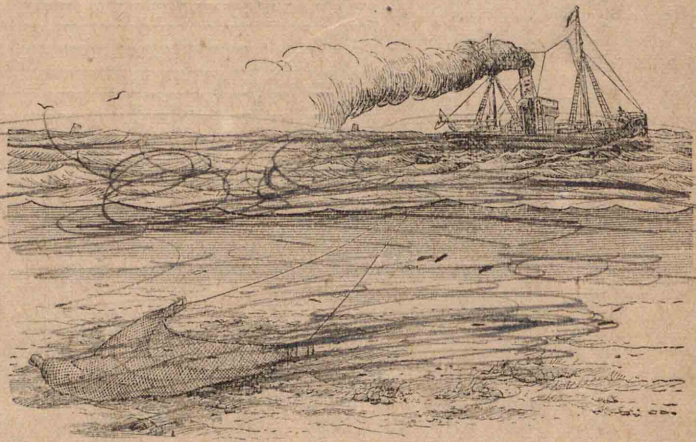
### 第七 水産業

#### 内地の水産業

概説  
内地は近海に寒暖の二海流ありて、水産物に富む。暖流の過ぐる海中には鰯・鯉・鯛・烏賊・鮒・鯖・鮪等多く、寒流区域には鮭・鱒・鱒・臘虎・臘肭獸・昆布等盛に蕃殖す。されば漁業は近海到る所に行はる。又近來内地人の遠洋漁業に従事するもの多く、區域は朝鮮・關東州・西比利亞・アラスカ等の海面にも及ぶ。捕獲には從來の漁具の外、トロール網をも使用し、山口・静岡二縣の漁民之に従事するもの多し。其の他、水産物の養殖は東京灣・三河灣・伊勢海・廣島灣・有明海等に行はれ、製鹽亦海濱諸所に行はる。

#### 水産漁獲物

ト ロ ー ル 漁 業

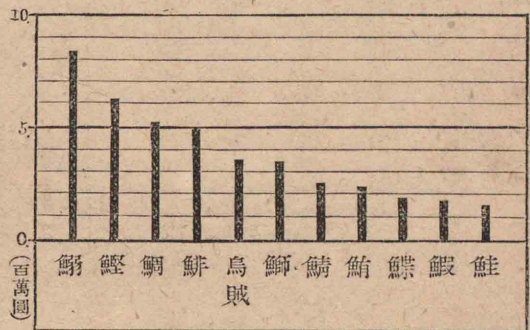


養 殖 場

漁獲物は逐年増加して年價額八千萬圓に近し。魚類は其の凡そ八割を占め、鰯・鯉・鯛・鮒を主とし、鮒・鯖・鮪・鱒・鮭等之に次ぐ。

水産製造物

水産製造物年産額

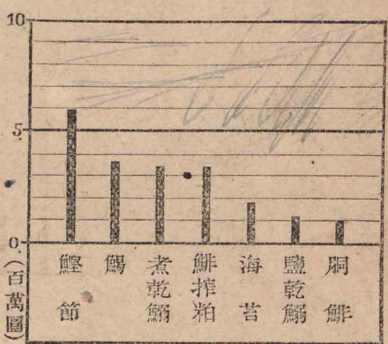


又烏賊・鰻・昆布・鮪等も多く、鯨類の捕獲亦行はる。臘虎・臘豚獸は近來其の獵獲を禁ぜらる。各地方の中にて北海道は漁獲高最も多く、一年一千万圓を超え、鮭・昆布等の産に富む。千葉縣之に次ぎて其の半に近く、鰻・秋刀魚等の産多く、静岡・山口・兵庫・三重・長崎・高知・鹿児島等の諸縣更に之に次ぐ。

水産製造物は年産額四千万圓に近く、略、漁獲物と其の主産地を等しうす。最も主要なるは鰻節にして、鰻・煮乾鰻・鮭・海苔・鹽乾鰻・鰯・鰺等の次に次ぐ。鰻節は伊豆・薩摩・土佐の産大いに名高く、鰻は長崎・島根・大分の三縣、煮乾鰻は廣島・山口・愛媛

食鹽

水産製造物年産額



の三縣、鮭・搾粕は北海道を主産地とする。水産製造物の海外に輸出せらるるもの少からず。就中魚油及び鯨油は歐洲諸國に、鰻・寒天・昆布等は支那に需要多し。

食鹽は概ね入濱法によりて製せられ、年産額凡そ十億斤にして、價二千萬圓を超ゆ。瀬戸内海は大河の流入少く、晴天多く大氣乾燥し、且沿岸は遠淺にして、潮汐の干満著しければ、製鹽に適する所多く、坂出・三田尻・赤穂・尾道等有名なり。

新領土の水産業

7.11.25

臺灣の水産業は未だ幼稚にして産額多からず。其の地氣温

臺灣の水産業

朝鮮の水産業

高く且風多きを以て、製鹽業は天日法によりて行はれ、中部以南に盛なり。

朝鮮近海は魚類豊富なるに拘らず、水産業は久しく振はざりしが、近時内地の出漁者増加するに随ひて、水産物著しく多きを加ふるに至れり。漁夫は朝鮮人八割、内地人二割なれども、漁獲高は兩者略、相半す。主要漁獲物は日本海の明太魚、鯨、鯡、黄海の石首魚、南部の鱈、鰺、鯛等なり。又近來天日製鹽次第に行はる。

樺太に於ける産業中、最も主要なるは水産業にして、漁獲物は其の種類北海道に類し、鯡最も多く、鱈、鮭等之に次ぐ。鯡は眞岡地方を初め諸所に大いに漁獲せられ、概ね搾粕に製せらる。

樺太の水産業

冬品種ニ就  
イテ幸甚地  
ヲニツ  
オホヘトク

概説

第八 工業

7/11.25

内地の工業

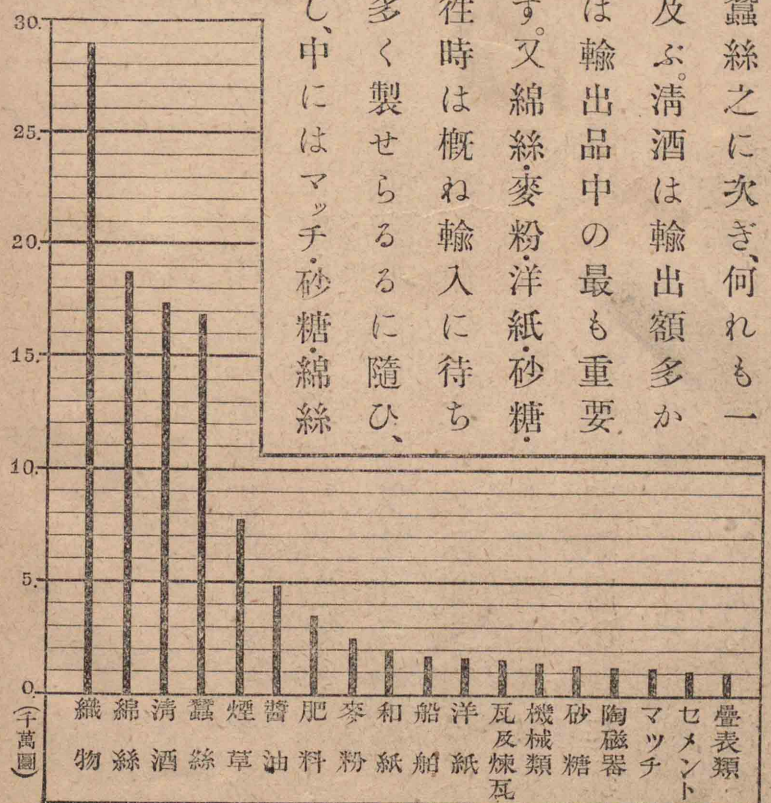
内地に於ける工業は古より開け、其の技術頗る發達せしも、手工によれる家内工業に屬せしを以て、工業品の産額多からざりき。然るに幕末の頃新に機械を輸入して、綿絲紡績造船等の工場を設け、明治維新の後は大いに西洋諸國の長を取り、學理の應用を盛にし、東京、大阪を初め所所に盛大なる工場を開き、今や我が國は世界に於ける工業國の班に列するに至れり。

工産物

工産物は内外の需要に促されて、近時頗る増加し、年價額十數億圓に達し、一千萬圓以上のもののみにて約二十種に

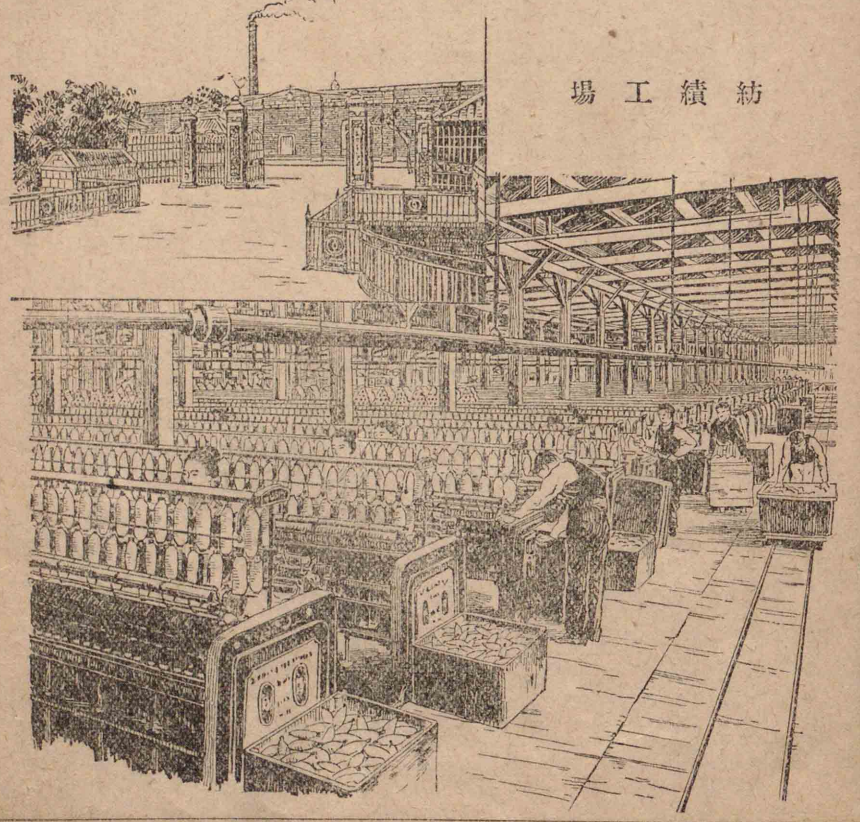
綿絲

上れり。其の中、産額の最も多きは織物にして、殆ど三億圓に達し、綿絲、清酒、蠶絲之に次ぎ、何れも一億數千萬圓に及ぶ。清酒は輸出額多からざれども、他は輸出品中の最も重要なものゝ屬す。又綿絲、麥粉、洋紙、砂糖、マツチの如きは往時は概ね輸入に待ちしが、内國にて多く製せらるるに隨ひ、輸入額漸く減じ、中にはマツチ、砂糖、綿絲の如く輸出額大いに増加せるものあり。



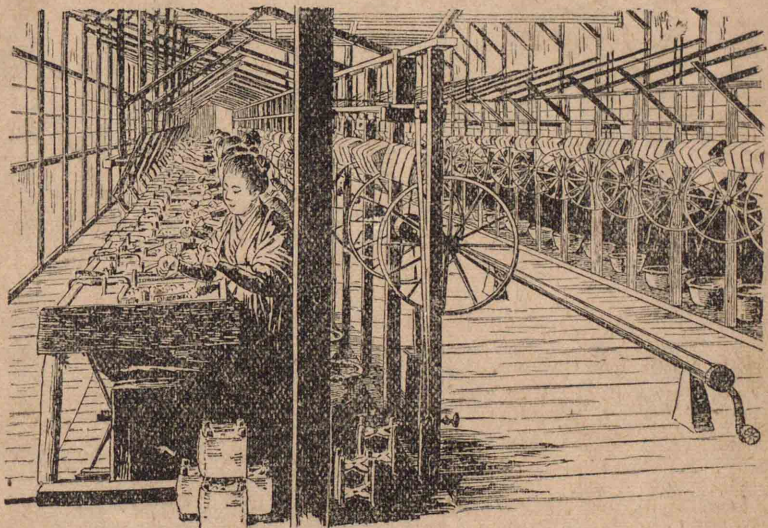
主要工業物産年産額

増加して約二億圓に及び、殆ど皆輸入綿を原料とす。大阪府を中心として愛知縣より廣島縣に亘れる一帯の地方と東京府とに多く産し、中にも大阪府の産額は總産額の凡そ三割に達す。神戸、大阪等



蠶絲

製絲工場



島山形等の諸縣にも産額少からず。生絲は蠶絲の大部分を

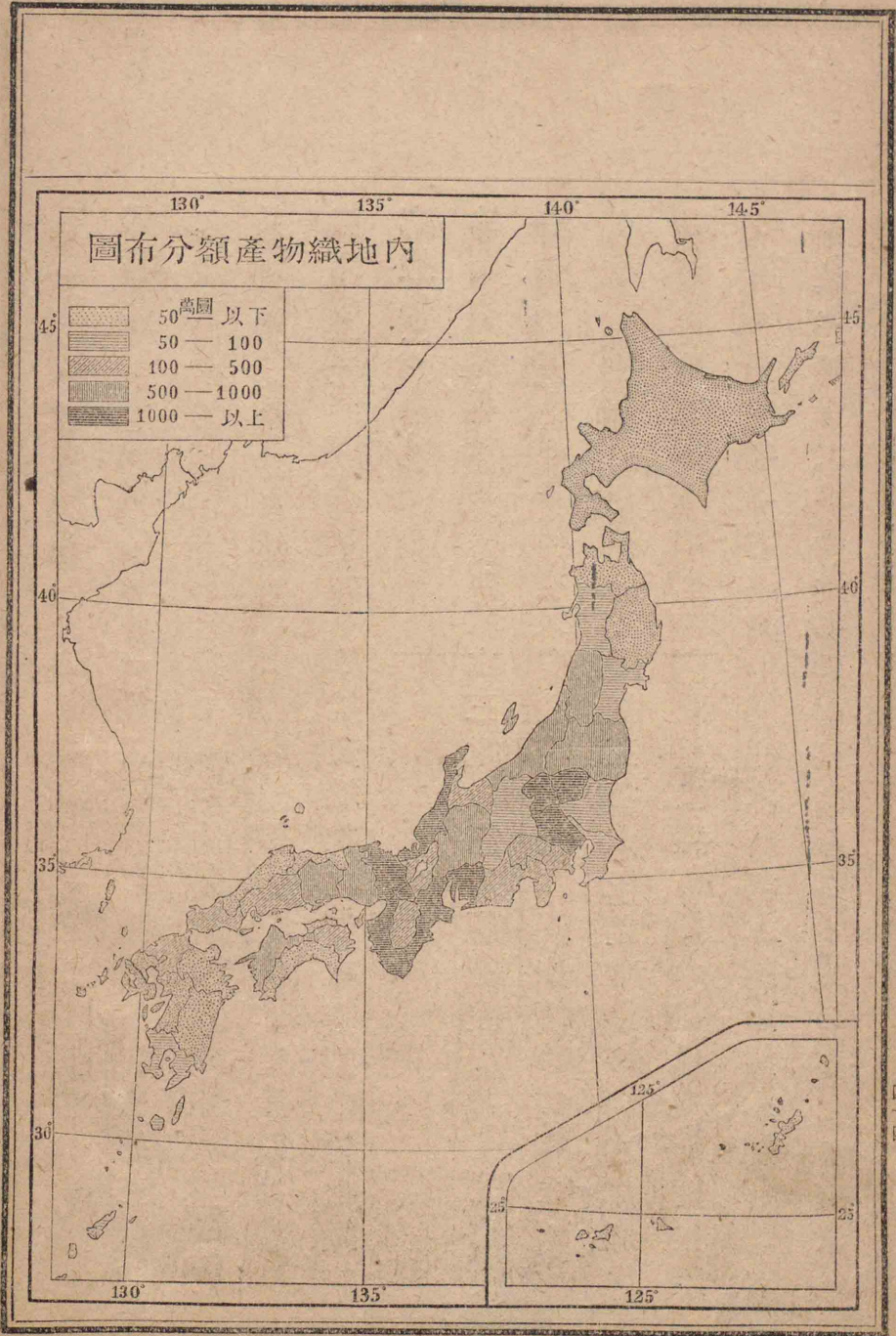
の諸港より東洋各地に輸出せらるるもの多く、支那の市場に於ては印度産の綿絲と競争頗る盛なり。蠶絲は年産額凡そ一億七千萬圓に上る。長野縣は其の主産地にして、總産額の約四分の一を出し、諏訪湖沿岸の岡谷おかのには製絲工場の大なるもの多し。其の他、愛知・群馬・山梨・岐阜・埼玉・福

織物

占め、海外に輸出せらるるもの凡そ七割五分に及ぶ。織物は内地に於ける第一の工産物にして、年産額約三億圓に達す。概ね手織機にて製せられ、力織機の使用未だ盛ならず。織物の主要なるは綿織物と絹織物として、産額は各總産額の四割内外に及び、絹綿交織物之に次ぎ、其の他、毛織物、麻織物等あり。

綿織物は大阪・愛知・和歌山・三重の諸府縣を主産地とし、各年産額一千万圓を超え、又愛媛・埼玉・栃木・兵庫等の諸縣にも多く産す。綿織物の中にて愛知・三重・大阪諸府縣の白木綿、和歌山縣の綿フランネル、福岡・愛媛二縣の緋木綿、埼玉・静岡二縣の縞木綿、埼玉・愛知二縣の織色木綿、栃木縣の縮木綿等著名なり。是等の中、東洋各地に輸出せらるるもの多けれども、綿

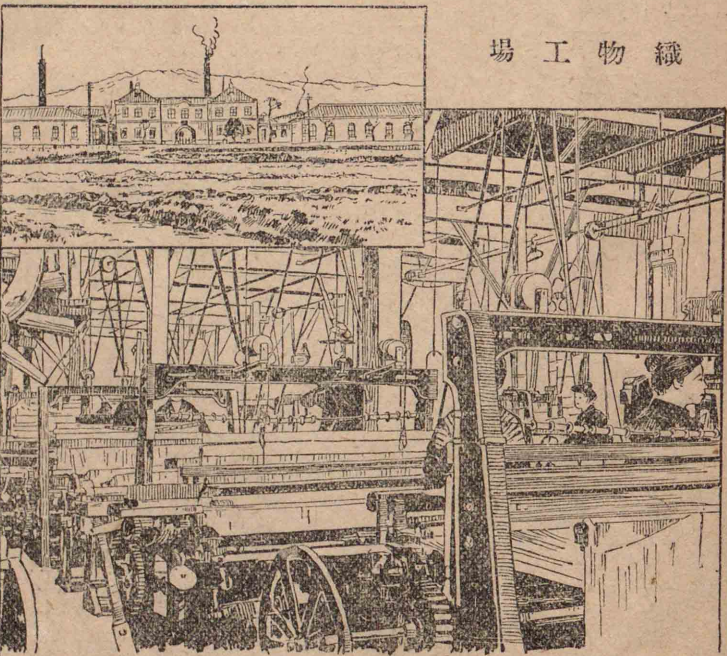




織物の英國より輸入  
せらるるもの亦少か  
らず。

絹織物は概ね京都府  
より奥羽の南部に互  
れる地方に産す。就中  
福井・石川・福島の諸縣  
は羽二重を産するこ  
と多く、京都府は縮緬  
紋織・帶地等の産に富  
み、其の西陣織は古來名高し。其の他、岐阜・阜・滋賀・群馬・三府縣の絲織、山梨  
緬・群馬・埼玉二縣の紬太織、東京・山形・群馬三府縣の絲織、山梨

織物工場



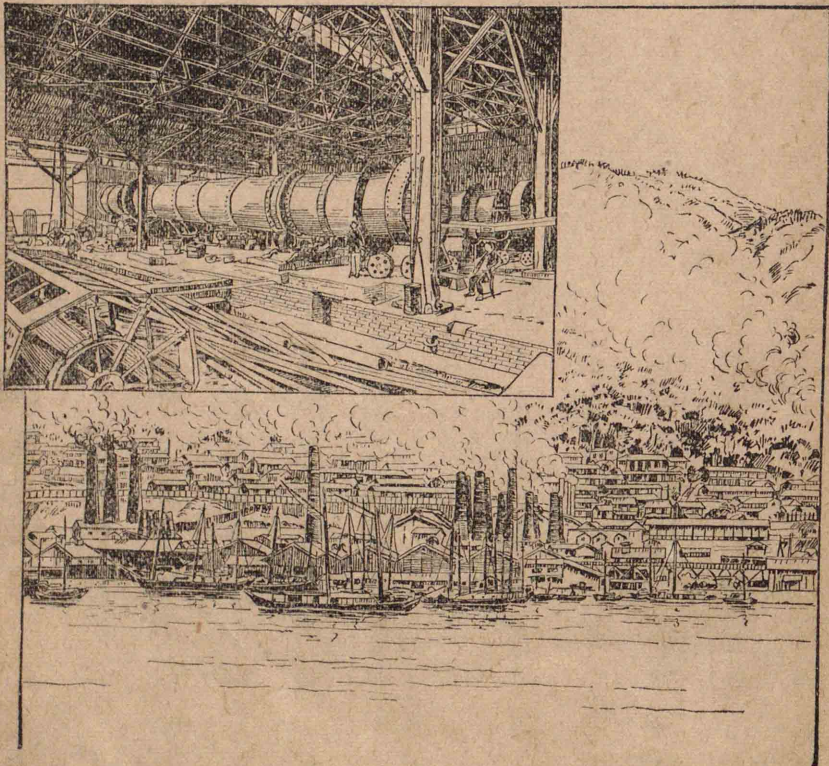
第三學期

窯業品  
ヨシキヨウレン  
8.113.

縣の甲斐絹等あり。是等の中にて羽二重は外國の需要頗る多く、概ね横濱港より輸出せらる。其の他絹綿交織物は群馬栃木愛知京都等の諸府縣に産し、毛織物は東京府大阪府に、麻織物は滋賀縣に多く産す。其の中にて毛織物は近時産額大いに増加したれども、未だ國內の需要を充す能はざれば、英獨等の諸國より輸入せらるるもの甚だ多し。

我が國は夙に陶磁器の製造を以て知らる。近時飲食器家具の外、尙電氣用具建築材料にも之を用ふること多く、爲に其の年産額増加して凡そ一千五百万圓に及べり。愛知縣は其の凡そ四割を占め、岐阜京都佐賀石川等の諸地方之に次ぐ。陶器には粟田燒薩摩燒等著れ、磁器には瀬戶燒多治見燒清

水燒有田燒九谷燒等名あり。是等の中には米國等に輸出するもの頗る多し。七寶燒は夙に其の名を海外に馳せ、愛知縣の産殊に有名なり。建築土木業の



場工トメセ

漆器

盛なるに随ひて、セメント、瓦煉瓦等の需要次第に増加し、セメントは福岡、愛知、東京、大阪、山口等の諸府縣に、瓦は愛知、兵庫の二縣に、煉瓦は大阪府に多く産す。又硝子の製造も近來次第に増加し、大阪府、東京府に其の産額少からず。漆器は古來我が國の特産物として稱せらるれども、其の年産額は八百萬圓に達せず。且近年支那漆の使用盛に行はれて品質低下せるの憾あり。産額の殊に多きは石川、静岡、和歌山の三縣にして、静岡縣の産は多く海外に輸出せらる。其の他、京都、福島、愛知等の諸府縣にも産額少からず。酒類の中、清酒は毎年約四百萬石を出す。兵庫縣は産額最も多く、灘地方には古來大なる醸造場多し。其の他、福岡、廣島、新潟、京都、愛知等の諸地方にも産額少からず。麥酒は東京、大阪

醸造品

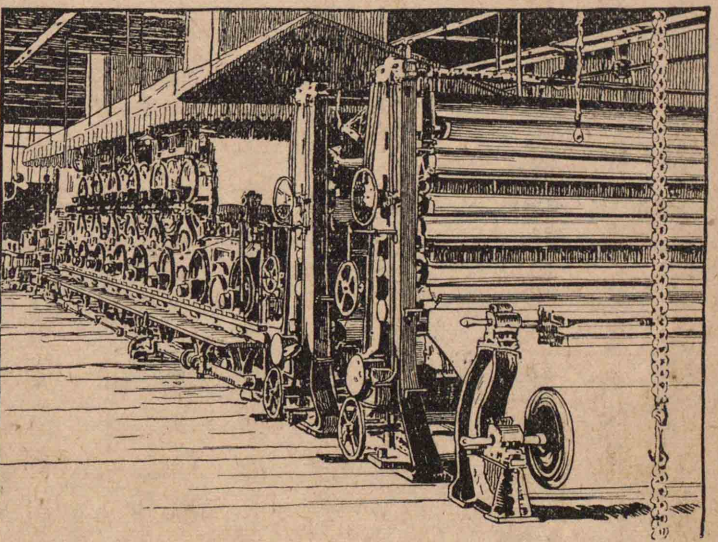
砂糖

紙類

神奈川等の諸地方に産し、近來次第に東洋各地に輸出せらる。醤油の年産額は三百萬石以上に及び、千葉縣を最とし、兵庫、愛知等の諸縣之に次ぎ、野田、銚子等の産名高し。砂糖は從來甘蔗の多く栽培せらるる沖繩、鹿児島、香川等の諸縣を主産地とせしも、今は臺灣及び蘭領印度に粗糖を求めて、之を大阪、東京、福岡の諸地方にて精糖となすこと多し。内地の砂糖は是等を合せて年産額三千三百萬圓以上に及び、近時輸入額大いに減少せるのみならず、輸出額著しく増加せり。内地は製紙の原料に富み、且近時印刷業の發達するに伴なひて、紙の産額次第に増加せり。和紙は概ね手工によりて製せられ、年産額二千萬圓に近き、半紙及び美濃紙を主とし、高

花筵 四百萬圓  
 五八〇万圓  
 三〇五万圓  
 二〇五万圓

製紙工場



疊表類

疊表類は年産額凡そ一千萬圓に上る。其の主要なるものは大分縣の琉球表、廣島縣の備後表及び岡山縣の花筵なり。花

知縣の産最も多く、愛媛岐  
 阜、福岡の三縣之に次ぐ。西  
 洋紙は主に機械によりて  
 製せられ、年産額二千六百  
 萬圓以上に及び、静岡縣其  
 の凡そ四分の一を出し、東  
 京府、兵庫縣之に次ぐ。紙類  
 には外國に輸出せらるる  
 ものあれども、輸入品亦少  
 からず。

製帽用眞田

筵は敷物として需要多く、主として米國に輸出せらる。製帽用眞田には麥稈眞田、經木眞田等あり、年産額合せて七百萬圓に近し。麥稈眞田は香川、岡山三縣に多く、經木眞田は岡山、埼玉三縣に多く産す。何れも米國、英國等に輸出せらるもの少からず。其の他、近時麻眞田の産亦多し。

マッチ

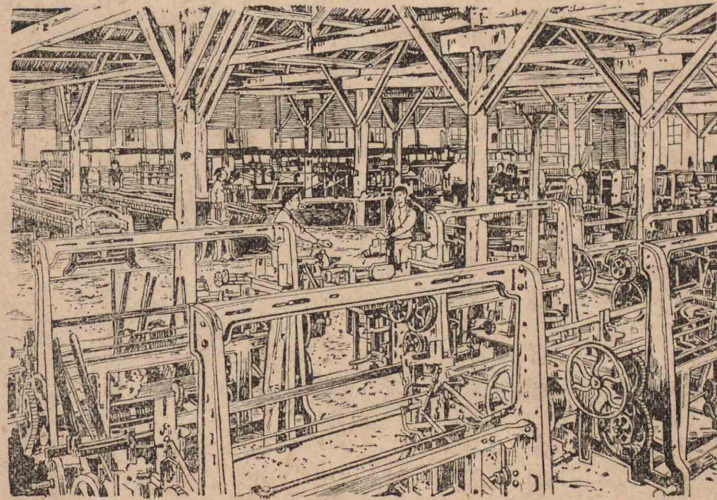
マッチは其の産額次第に増加し、安全マッチ、黄燐マッチ、硫黄マッチ合せて年一千萬圓以上に達し、其の八割餘は兵庫縣及び大阪府に産す。重要輸出品の一にして、大部分は東洋各地に送らる。

機械類

機械類は各種産業の發達に伴なひて需要多く、西洋諸國より巨額の輸入あれども、内地の製造品亦次第に増加せり。各種の原動機、電氣機械等の年産額一千五百萬圓を超え、東京

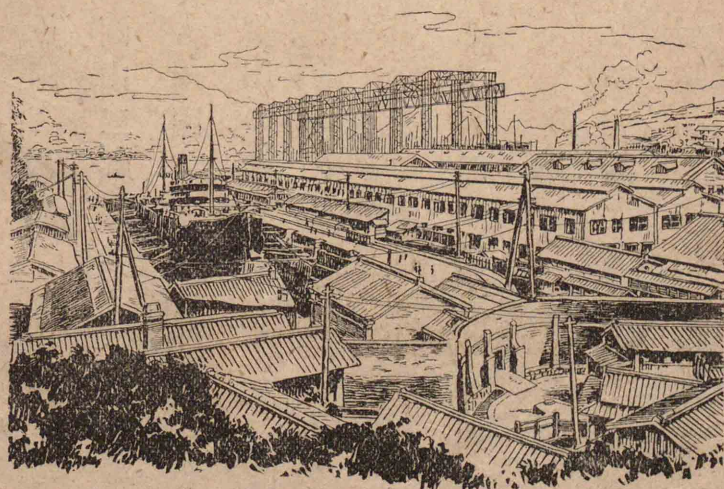
船舶

機 械 工 場



造船業は通商の發達、海軍の擴張等に隨ひて次第に盛にな

府は其の凡そ半を出し、大阪府兵庫縣等之に次ぐ。



神 戶 川 崎 造 船 所

臺灣の工業

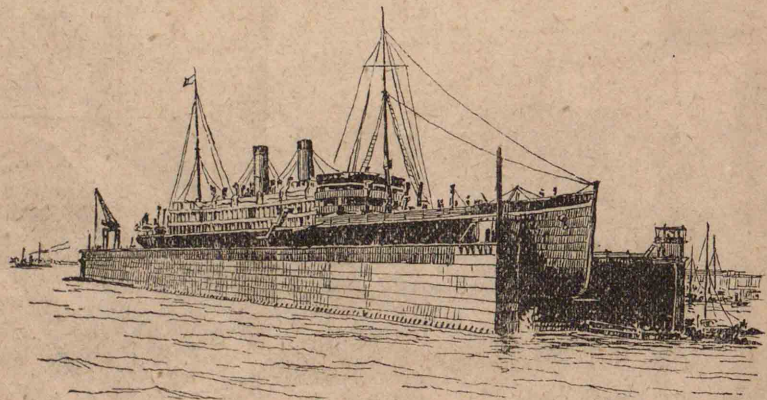
其の他の工  
産物

1. 英  
2. 米  
3. ノール  
4. ドイツ  
5. 日本  
造船業  
軍艦スリ  
百三十三セキ

り、造船所諸所に起りて汽船帆船等の製造年額約一千七百萬圓を算するに至れり。造船所の中にて殊に有名なるは長崎の三菱造船所と神戸の川崎造船所となり。又各軍港の工廠には艦艇の製造行はる。工産物には尙著しきもの多し。煙草、肥料、金屬製品、藥品等は其の例たり。

新領土の工業

臺灣の工業は從來幼稚なる家内工業に過ぎざりしが、近時

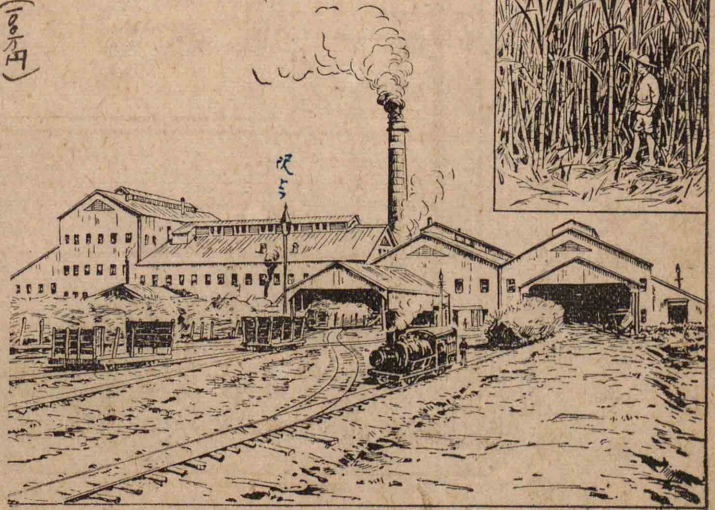


浮 船 渠

朝鮮の工業

柿 柿 柿  
五三萬斤  
二〇〇萬斤

大いに進歩して各種の工場次第に起れり。主要なる工業は農業に附帶せる製糖業にして、臺南嘉義阿緞の三地方に多く行はれ、粗糖の年産額凡そ三千萬圓に上り、概ね内地に移出せらる。又編物織物等の製造は原料豊富なるを以て、將來隆盛に赴くべし。朝鮮には織物、陶磁器、紙類、酒、煉瓦等の工産物あり。其の量未だ多からざれども、將來工業次第に發達すべし。



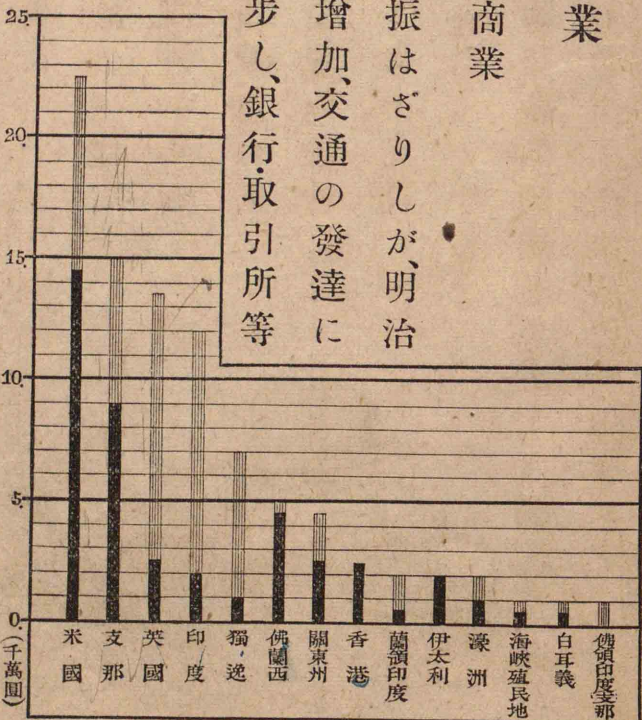
園蔗甘と場工糖製

### 第九 商業

内地の商業

概説

我が商業は從來振はざりしが、明治維新以來産物の増加、交通の發達に伴なひて頗る進歩し、銀行、取引所等も次第に備り、今や其の面目全く一新せり。



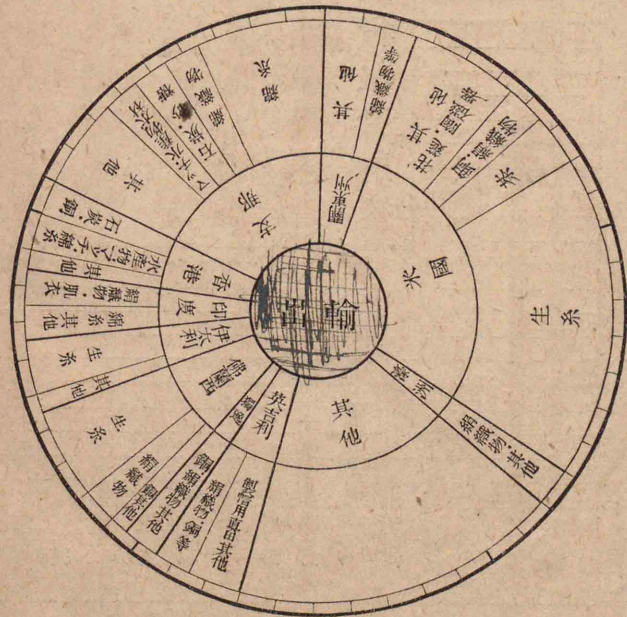
先引取要主

外國貿易

我が内地の外國貿易は近來大いに發達して、輸出入年總額略十億圓を算するに至れり。されど之を英國に比すれば、未だ其の一割にも達せず、和蘭、白耳義等の小國にも遙かに及

取引先

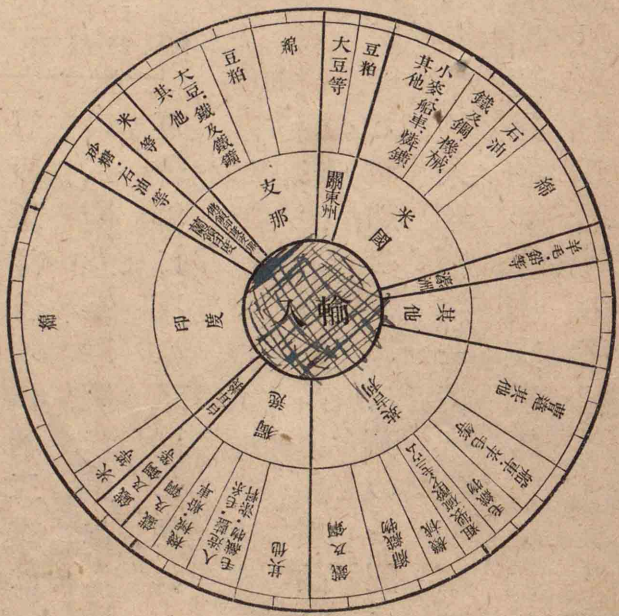
ばず。且我が輸入額は輸出額に著しく超過するを常とす。我が國と取引最も多きは米國にして、其の年額二億圓に餘り、支那、英國、印度之に次ぎ、何れも一億圓以上に及ぶ。其の他、獨佛二國等との取引亦頗る盛なり。是等の中にて米國、支那、佛國には輸出多く、英國、印度、獨逸よりは輸入多し。支那、印度よりは我に原料品を供すること亦多く、加ふるに



先出輸要主

輸出品

其の位置我に近ければ、商業上我が國の最も大切なる取引先なりとす。内地の輸出年額は凡そ四億五千萬圓に達す。輸出品中、生絲、綿絲、銅等の原料用製品及び織物、マツチ等の全製品頗る多し。就中生絲は輸出品の首位を占め、輸出年額略二億三千萬圓に達し、大部分は米國に、一部は佛、伊二國に送らる。綿絲は近年輸出激増して輸出品の第二位を占め、其の他、

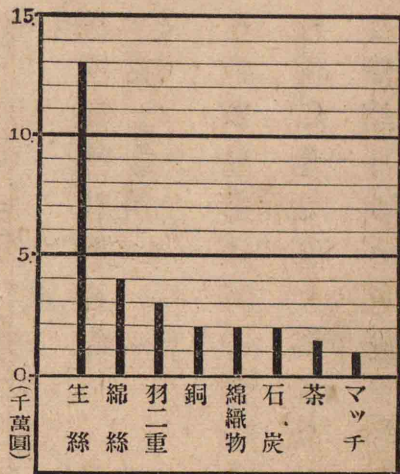


元入輸要主

輸入品

内地の輸入年額は凡そ五億圓に上る。輸入品中、原料品は我が工業の發達に伴なひて頗る増加せり。綿は其の一例にして、我が紡績業の發達に隨ひ、輸入年額約一億五千萬圓に上り、輸入品の首位を占め、印度を初め米國支那等より概ね神戸に來る。鐵及び鋼は英獨米白耳義等の諸國より來りて、輸

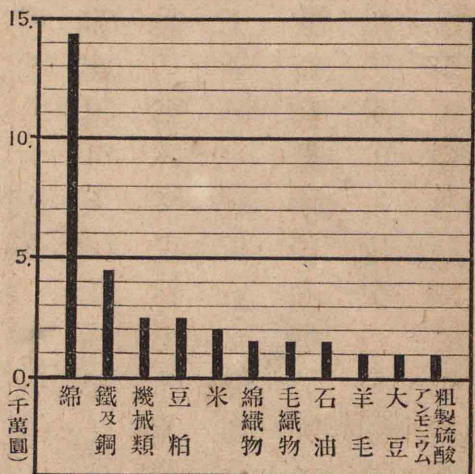
品出輸要主



く輸出せらる。内地の輸入年額は凡そ五億圓に上る。輸入品中、原料品は我が工業の發達に伴なひて頗る増加せり。綿は其の一例にして、我が紡績業の發達に隨ひ、輸入年額約一億五千萬圓に上り、輸入品の首位を占め、印度を初め米國支那等より概ね神戸に來る。鐵及び鋼は英獨米白耳義等の諸國より來りて、輸

二億四千四百萬圓  
二億七千四百萬圓  
二億四千四百萬圓  
二億四千四百萬圓  
二億四千四百萬圓  
二億四千四百萬圓  
二億四千四百萬圓  
二億四千四百萬圓

品入輸要主



入品の第二位を占む。其の他、機械類、豆粕、米、綿織物、毛織物、石油、羊毛、大豆、粗製硫酸、アンモニウム等あり。其の中にて機械類は英國、豆粕、大豆は支那、米は印度支那半島、印度、綿織物、毛織物は英國、石油は米國、蘭領印度、羊毛

貿易港

内地の貿易港は其の數三十六あり。其の中、横濱と神戸とは何れも貿易額甚だ多く、合せて内地貿易總額の凡そ八割を占む。横濱は我が國第一の輸出港にして、西洋諸國との取引



盛に、生絲を初め羽二重銅等を多く輸出し、綿、鐵及び鋼、機械類、豆粕、羊毛、米、毛織物、綿織物等を輸入すること多し。神戸は我が國第一の輸入港にして、綿、鐵及び鋼、機械類、綿織物、毛織物、豆粕、粗製硫酸アンモニウム、米等を多く輸入し、綿絲、銅、マツチ、製帽用眞田綿織物等を多く輸出し、東洋各地との取引頗る盛なり。大阪、門司、四日市、長崎、清水等の諸港は貿易年額各一千萬圓以上に及び、中には六千萬圓を超ゆるものあり。其の他、三池、若松、武豊、小樽、敦賀等亦著しき開港場たり。

新領土の商業

臺灣の商業

臺灣は近時内地との取引大いに發達し、年額八千五百萬圓を超え、移出は其の凡そ六割を占む。主要なる移出品は粗糖（三三七分）、樟腦、油等にして、就中粗糖は移出總額の七割餘を占む。主

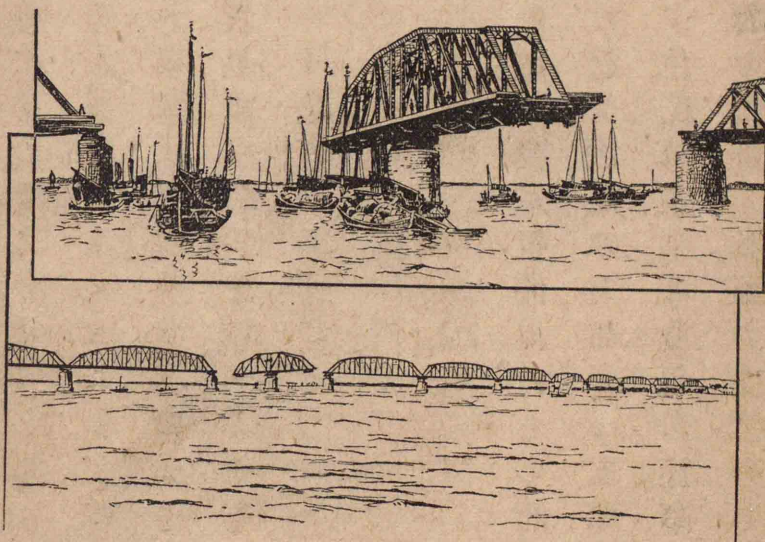
要なる移入品は綿織物、水産物、木材等なり。打狗には移出多し、基隆、安平には移入多し、移出品は主に横濱と大阪とに向ひ、移入品は多く大阪より来る。

外國貿易額も近年増加して年略三千三百萬圓に上り、輸入は其の約六割に及ぶ。主要なる輸入品を製糖機械及び阿片とす。輸出品の主要なるものは茶と樟腦とにして、茶は主として米國に、樟腦は獨米二國に多く送らる。取引先は支那を最とし、米英獨の諸國之に次ぐ。貿易港には普通のもの四港、支那形船の爲に開けるもの七港あり。淡水は貿易額最も多く、打狗、基隆之に次ぐ。

朝鮮は從來住民の生活程度低く、且交通不便にして常設の店舗少く、商業は概ね定期の市日に行はれしが、近時内地人

朝鮮の商業  
物出入

鴨綠江の開閉橋



關より來る。取引は主に釜山・仁川・京城にて行はる。

の移住多く、爲に産物増加し、交通の機關亦整備せしかば、内外の商況次第に活潑に向へり。

内地との取引高は年年増加して略六千萬圓に上り、移入は其の約七割を占む。主要移出品は大豆・米・牛皮等にして、主に大阪に向ひ、主要移入品は、綿織物・綿絲・木材等にして、主に大阪・下

外國貿易額は次第に増加して年約二千五百萬圓に上り、輸入額其の凡そ八割に及ぶ。取引先の主要なるものは支那・英國及び米國なり。支那に對して米等を出し、葛布・絹織物等を入れ、英國より綿織物、米國より石油を輸入すること少からず。貿易場は仁川を第一とし、釜山・新義州・鎮南浦・京城・元山等凡そ十箇所あり。

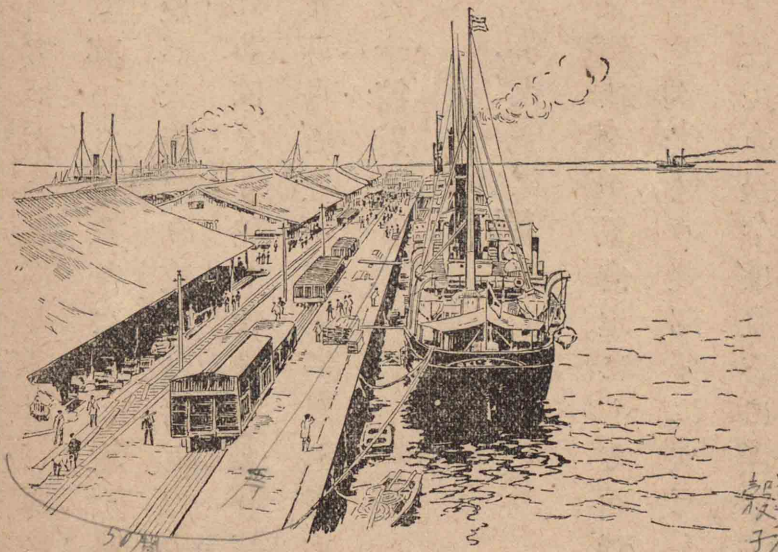
### 第十 關東州の産業

關東州は我が租借地にして、面積約二百二十方里、人口五十萬に近く、住民の大部分は支那人にして、内地人は七萬に達せず。住民の過半は農業に従事すれども、氣候は大陸内部の影響を受けて、氣温の變化烈しく、雨量少く、且平地甚だ狭け

農産物  
工業物  
輸出入口

れば、農業上の不便少からず。農産物の主要なるものには玉

大連港の船岸



蜀黍・高粱・大豆等あり。豚の飼養廣く行はる。漁獲物には鯛・鱈・石首魚等多く、沿岸所所に製鹽行はる。工業は大連に於ける豆粕・豆油の製造を主とす。セメント・煉瓦等の産亦少からず。外國貿易は年額凡そ一億圓に及び、輸出は輸入より稍多し。輸出品の主要なるものは豆粕・大豆・豆油等に

して、輸入品の主要なるは綿織物・機械類・金屬製品・米・麻袋等なり。取引は内地との間に最も盛に行はれ、其の額は貿易總額の凡そ六割を占め、支那との取引高之に次ぐ。貿易の最も盛に行はるるは大連港にして、其の取引高は貿易總額の殆ど全部を占め、遼河の河口なる營口と繁榮を競ふ。

### 第十一 世界に於ける日本の地位

我が帝國は位置風土良好にして、國民は忠君愛國の精神と進取の氣象とに富み、國力内に充ち、國威外に揚りて、今や世界の一等国に列するに至れり。然れども我が國は其の面積未だ英・米・獨・佛・露諸國の領土に比するに足らず、殖民の事業亦振はざるを以て、人口の増加

我が國の  
至る人増々  
精進  
省方可歩

につれて漸く國土の狭小を感ずるに至れり。加ふるに産業の狀態は歐米諸國に比して未だ及ばざるもの多し、農業は古來開けたれども、耕地尙狭小にして食料品の供給漸く困難を加へ、農産物にして世界の市場に出づるものは、茶イヌギヤの外に見るべきものなし。鑛産物には銅ウツロウ、石炭等産額多量なるものあれども、鐵テツの産出甚だ少し。商工業は近年頗る發達し、生絲キヌ、綿ワタ、絲羽シウ、二重綿織物等は海外に輸出せらるること多きに至りしも、學理の應用、機械の使用未だ盛ならず。商船噸數亦近時増加して凡そ百四十萬噸に上れるも、貿易總額の如きは遙かに列強の後に位し、貿易品の外國船によりて運搬せらるるもの尙頗る多し。又歳出は軍備の充實、各種事業の改善に伴なひ、次第に膨脹して約六億圓に及び、國債亦二大戦

イヌギヤ  
ワタ  
シウ  
キヌ  
テツ  
ウツロウ  
イヌギヤ  
ワタ  
シウ  
キヌ  
テツ  
ウツロウ

役を経て大いに増加し凡そ二十五億圓に達し、外國債其の過半を占むるを以て、國民の負擔は其の富力に比して輕しといふべからず。

顧みるに歐米の列強は世界各地に其の勢を振ひ、殊に競ひて東洋に於ける通商の利を專有せんとす。西比利亞鐵道は益改修せられ、又近く巴拿馬運河の開通せられんとするありて、東西兩洋の通商交通愈頻繁となり、東洋の天地は是より益多事ならず。我が國民たるものは是等の國情に鑑み、世界の大勢を察し、勤儉産を治め、以て國運隆昌の基を立て、世界一等國たるの實を擧げずんばあるべからず。

高等小學地理 第三學年用終

大正二年三月十五日發行  
大正二年三月十八日發行  
大正二年三月十九日發行  
大正二年三月廿八日發行

著作權所有

著作兼  
發行者

文部省

高等小學地理卷三  
定價金六錢

大正二年三月廿日  
文部省檢査濟

翻刻發行者  
兼印刷者

東京市小石川區指谷ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社

大正十年四月十五日

代表者

原亮一郎

印刷所

東京市小石川區指谷ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社工場

發賣所

東京市日本橋區新右衛門町十六番地  
株式會社 國定教科書共同販賣所

高三

其田司郎

公

高三 芦田 三郎

広島大学図書

2000030767

